

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年1月21日(2016.1.21)

【公開番号】特開2015-213796(P2015-213796A)

【公開日】平成27年12月3日(2015.12.3)

【年通号数】公開・登録公報2015-075

【出願番号】特願2015-147352(P2015-147352)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成27年11月2日(2015.11.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定のスイッチ信号に起因して抽選処理を実行し、抽選結果に対応した遊技制御動作を実行する遊技機であって、

前記抽選処理を含んだ遊技制御動作を実行する主制御手段は、制御プログラムや固定データを不揮発的に記憶するROMと、作業データを揮発的に記憶するRAMと、抽選処理用の乱数値を生成する乱数生成手段と、システムクロックを受けて動作するCPUと、が内蔵されたワンチップマイコンを有して構成され、

前記乱数生成手段は、システムクロック又はその他の外部クロックに基づいて更新動作を繰り返して数値を更新する数値更新手段と、前記スイッチ信号がON遷移した場合に、数値更新手段の出力値を記憶可能なラッチ手段と、前記ラッチ手段の記憶値を取得可能な乱数取得手段と、前記乱数取得手段が前記ラッチ手段の記憶値を取得したことを記憶可能な状態記憶手段と、を有し、

前記スイッチ信号のON/OFF状態を記憶可能な信号取得手段と、前記状態記憶手段、及び、前記信号取得手段は、CPUからアクセス可能に構成され構成され、

前記信号取得手段の記憶値を定期的に判定し、前記信号取得手段の記憶値が遷移したことに対応して、前記乱数取得手段の記憶値を抽選処理用の乱数値として取得して前記抽選処理を実行するよう構成されると共に、前記乱数取得手段の記憶値は、前記状態記憶手段を書き込みアクセスすることでクリア可能に構成されている遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

上記の目的を達成するため、本発明は、所定のスイッチ信号に起因して抽選処理を実行し、抽選結果に対応した遊技制御動作を実行する遊技機であって、前記抽選処理を含んだ遊技制御動作を実行する主制御手段は、制御プログラムや固定データを不揮発的に記憶するROMと、作業データを揮発的に記憶するRAMと、抽選処理用の乱数値を生成する乱

数生成手段と、システムクロックを受けて動作するCPUと、が内蔵されたワンチップマイコンを有して構成され、前記乱数生成手段は、システムクロック又はその他の外部クロックに基づいて更新動作を繰り返して数値を更新する数値更新手段と、前記スイッチ信号がON遷移した場合に、数値更新手段の出力値を記憶可能なラッチ手段と、前記ラッチ手段の記憶値を取得可能な乱数取得手段と、前記乱数取得手段が前記ラッチ手段の記憶値を取得したことを記憶可能な状態記憶手段と、を有し、前記スイッチ信号のON/OFF状態を記憶可能な信号取得手段と、前記状態記憶手段、及び、前記信号取得手段は、CPUからアクセス可能に構成され構成され、前記信号取得手段の記憶値を定時的に判定し、前記信号取得手段の記憶値が遷移したことに対応して、前記乱数取得手段の記憶値を抽選処理用の乱数値として取得して前記抽選処理を実行するよう構成されると共に、前記乱数取得手段の記憶値は、前記状態記憶手段を書き込みアクセスすることでクリア可能に構成されている。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】削除

【補正の内容】